

財務部長マニフェスト

財務部長 野村 英晃

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

私の思い

人口が減少し、少子高齢化が進む中、歳入の根幹である市税収入の増は見込めない一方で、社会保障経費は年々増加し、加えて、公共施設の耐震化や老朽化への対応などの削減が困難な経費が増え続けており、今後、ますます財源不足が予測される厳しい財政状況となっています。

これまで、市民サービスの維持・向上を図り、持続可能な財政基盤を築くため、「柏原市新行財政計画」や「柏原市行財政健全化戦略」を実施し、歳入の確保や経費の節減を行って参りましたが、今後さらに、子育て支援や学力向上、市民の健康や安全安心などの充実を図るためには、さらなる、歳入の確保や既存事業の大幅な見直しによる廃止・縮小が必要となることから、「行財政健全化戦略（第2期）」の実施による確実な成果が求められます。「やらなければならない事の中でも今できる事」といった、「選択と集中」を極めるとともに、「適正な受益者負担」・「適正な経費支出」・「適正な事業規模」を図るなど、次世代に負の遺産を残さないよう、より一層の行財政の健全化に取り組みます。

また、市税の徴収や契約事務の執行に当たっては、法規に基づき適正に実施し、収入の確保や経費の節減に取り組むとともに、公平で公正な行政を実現してまいります。



(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

重点課題

- ① 計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
- ② 市税のより適正で公平な賦課徴収と収納率の向上
- ③ 適正な入札及び契約の執行

計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

1. 計画的な財政運営
「柏原市行財政健全化戦略（第2期）」のもと、計画的で規律ある財政運営に努めます。
2. 経常予算の抜本的見直し検討
平成29年度予算編成に向けて、既存事業の抜本的見直しを進めます。
 - ・市単独事業における部内でのスクラップアンドビルド（新規事業の実施には必ず既存事業の見直しを行い、廃止・縮小等を行うこと）を徹底
 - ・実施計画の策定に当たっては、査定による事業規模等の抑制、中長期の見通しを構築

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット（活動指標）

1. 平成28年度予算においても収支不足が見込まれる中、必要な事業規模等を再精査
2. 平成29年度予算への反映
 - ・収入の範囲内で歳出予算を組むよう努力し、将来負担を先送りしない
 - ・新規事業の構築とそれに伴う既存事業の廃止、縮小の徹底

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム（成果指標）

1. 予算編成は収入の範囲内で歳出予算を組む
2. 財政の健全化を示す指標等の改善及び堅持、特に将来負担比率の改善、連結実質赤字比率の黒字堅持

市税のより適正で公平な賦課徴収と収納率の向上

(作成日) 平成 28 年 4 月 2 2 日

遂行目標

税負担の公平・公正性の維持と市税収入の確保を図るため、

1. 課税物件の把握と申告漏れ防止に努めて、適正な課税を推進します。
2. 効果的、効率的な徴収及び滞納整理の強化により収納率（＝市税収入済合計額／課税額）を向上します。（平成 27 年度収納率（平成 27 年度出納閉鎖後に確定）を上回る収納率を目標とします。）

(作成日) 平成 28 年 4 月 2 2 日

アウトプット（活動指標）

1. 適正課税を推進するために課税客体的確な把握に努めます。
 - ・ 実地調査の実施や空中写真の利用
2. 滞納の早い段階で納付相談や納付交渉を行って納付につなげるとともに、厳正な姿勢で滞納整理を進めます。
 - ・ 納付コールセンターの開設 ・ 特別納税月間や休日納税訪問の実施
3. 昨年度に引き続き、「大阪府域地方税徴収機構」へ職員を派遣し、不動産公売などの取組みなどで困難事案の解消を進めます。
4. 市府民税の的確な課税と確実な徴収のために、従業員の市民税特別徴収を実施していない事業所に対し、特別徴収の実施に向けた取組みを進めます。
 - ・ 平成 30 年度に 100% の実施を目指し、平成 28 年度より広報周知活動などを開始します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 2 2 日

アウトカム（成果指標）

1. 厳正な滞納整理により、現年課税分の年度内納付を推進し、滞納繰越額の圧縮を図ることができます。
2. 公平・公正な課税徴収を行うことにより市税に対する信頼を確保することができます。

適正な入札及び契約の執行

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

契約事務における透明性・公正性・競争性を確保するとともに、特に、公共工事については、価格だけでなく品質にも配慮した方法に努めるため、

1. 総合評価方式など価格だけでなく、品質面も考慮した業者選定を行います。
2. 請負金額が130万円以上の工事の施工状況の評価を行い、工事成績評価を受注者に通知するとともに、市ウェブサイト公表します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット（活動指標）

請負金額が130万円以上の工事における工事成績評価の平均点のアップを目指します。

(平成 26 年度 72.4点 平成 27 年度 74.3点)

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム（成果指標）

適切な入札及び契約を執行するとともに、民間企業の優れた技術力を活かすことにより、単に廉価を目指すだけでなく、品質面の優れた成果物を得ることができます。